

南相馬市を子どもたちの活気であふれる市に！！

原町高校 1年 前田 峻祐

- 南相馬市は少子化が進んでおり、生徒数が減り、生徒間の競争が薄れ、市全体の学力が下がりつつある
- 勉強熱心な家族が、最新の教育を受けるために、都市部に引っ越すことでますます過疎化が進む
- 親の所得の影響で進学が難しい家族がいる



新しい教育の形で、他地域との学力格差をなくす

生徒の競争心を育むため以下の取組みを行う

- 学校などの教育機関で他地域の生徒と学習時間を共有するアプリを生徒の携帯電話やパソコンに入れることを義務化
- 他地域の生徒との交流の時間を多く設ける
- 一人一台の電子端末を積極的に使った学習をする
- 進学のための奨学金制度などの活性化

生徒に競争心が芽生え、学習の意欲が増え、学力が向上

都市部への引っ越しが減り、過疎化を抑制

お金を原因とした進学の問題をなくせる